

## 平成24年度第4四半期の環境監視調査結果について

平成25年1月～3月までの調査の結果は、すべて環境基準や管理目標値などを満足している。  
また、陸生・海生生物については、過去の調査結果と比較しても顕著な変化は見られていない。

項目		調査時期	調査結果概要	
大気質		1月～3月 (連続測定)	環境基準に適合していた。  【調査期間中の各最大値】 ・二酸化硫黄:0.008ppm(日平均値), 0.021ppm(1時間値) ・二酸化窒素:0.015ppm(日平均値) ・浮遊粒子状物質:0.070mg/m <sup>3</sup> (日平均値), 0.090mg/m <sup>3</sup> (1時間値)	
騒音・振動		1月17日 2月14日 3月13日	管理目標値内であった。 ・騒音最大値:75dB ・振動最大値:30dB未満(振動レベル計の測定下限値)	
水質	海水の濁り	—	期間中、海域工事は実施していないため、測定を実施していない。	
	陸域工事排水の水質	1月 8日 2月 7日 3月 5日	管理目標値内であった。 ・水素イオン濃度:6.9～7.2 ・浮遊物質濃度:2.0～4.0mg/L(日平均値)	
陸生生物	ハヤブサ	1月22日 2月26日 3月12日 3月26日	1月を除き、鼻線島において、全ての時期に雌雄各1個体の生息を確認した。 (1月22日は、荒天のため陸上から監視したが確認できなかった)	写真 1
	植生	—	春・夏に各1回ずつ調査をすることとしているため、第4四半期は調査を実施していない。	
海生生物	潮間帯生物	1月28, 29日	植物ではヒジキ、イワノカワ科など40種、動物ではヒザラガイなど35種を確認した。	写真 2
	海藻草類	1月28, 29日	アカモク、ノコギリモクなど39種を確認した。	
	底生生物	1月28, 29日	サザエやムラサキウニ、アカウニなど5種を確認した。	
	スナメリ	1月～3月 (週1回・計12日)	計22回、延べ43頭を確認した。	
	カクメイ科等の貝類	2月6～8日	カクメイ科の貝類は確認されなかった。 落石の危険性があるため、安全を考慮して、タイドプール2箇所のうち1箇所調査を実施した。	

## 【参考】その他の環境調査結果

## ○カラスバト

1月～3月の調査の結果、計画地点では姿・鳴声とも確認はなかった。

なお、鼻線島では全ての時期に姿や鳴声を確認した。(写真3)

また、天田島でも1月に鳴声を確認した。

## ○カンムリウミスズメ

1月～3月の調査の結果、1月に鼻線島北方で1個体を確認した。(写真4)

**【環境基準，管理目標値一覧】**

項 目		環境基準または管理目標値
大気質	二酸化硫黄	環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり，かつ，1時間値が0.1ppm以下
	二酸化窒素	環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppm～0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下
	浮遊粒子状物質	環境基準：1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり，かつ，1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下
騒 音		管理目標値：85dB 【参考】騒音規制法に基づく「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」を準用
振 動		管理目標値：75dB 【参考】振動規制法に基づく「特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準」を準用
海水の濁り	浮遊物質量	管理目標値：バックグラウンド+10mg/L以下
陸域工事排水	水素イオン濃度	管理目標値：5.0以上9.0以下
	浮遊物質量	管理目標値：日平均150mg/L以下

**【調査写真】**

写真1:ハヤブサ	写真2:海生生物(1月28, 29日)	
 <p>オス(2月26日)</p>	 <p>ヒジキ</p>	 <p>ヒザラガイ</p>
 <p>メス(2月26日)</p>	 <p>ノコギリモク</p>	 <p>サザエ</p>
写真3:カラスバト	写真4:カムリウミスズメ	
 <p>(1月29日鼻繰島)</p>	 <p>(1月9日鼻繰島北)</p>	